

暑かった夏も終わり、過ごしやすい季節になってきましたね。秋といえは、やはり「食欲」。気温が下がり過ごしやすくなることで、夏バテ気味だった体調も良くなり、ペットの食欲もわいてきます。実りの秋、というように、おいしい食べ物が出回る時期なので、人もつい食べ過ぎてしまいますね。

ただ、秋の味覚の中で、ペットに与えると危険なものがあります。それは「ブドウ」です。人はブドウをたくさん食べても何も害はありませんが、犬の場合には、死に至る中毒を起こすケースが報告されています。

犬の中毒としては、ネギ中



③

秋の味覚、ブドウに注意

毒が有名ですが、ブドウ中毒はあまり知られていません。知らずにブドウを与えている飼い主もいるようです。

ブドウ中毒の症状は、食後72時間以内に吐き気や下痢があり、食欲不振、腹痛、脱水などの症状も起こります。数日後には、腎不全となって長期間の治療が必要になったり、死んでしまったりする場合があります。

中毒の原因物質は分かっています。生のブドウのほか、干しブドウも危険です。致死量は、生のブドウは体重1キロ当たり30グラム以上、干しブ

ドウは同10～30グラムといわれています。

私も、ブドウを一房食べて腎不全を起こした体重10キロのシェルティーを診察したことがあります。重度の腎不全になってしまうと治療が難しく、残念ながら死んでしまいました。

いくらおねだりされても、犬にブドウは絶対に与えないでください。このことは、犬を飼っている方に広めていただきたいと思います。

(チームホープ
またたに動物病院院長
前谷茂樹)